



T E S H I O

日本海沖鮭漁にて/9月16日撮影

広報てしお

2006 **10** 月号
OCT.

No.592



第20回 日本海オロロンライン トライアスロン国際大会



町村の財政難、ボランティア数の減少・高齢化などの問題から今回が最後となる、留萌管内9市町村を縦断する「第20回日本海オロロンライントライアスロン」が8月27日に開催されました。

コースは、スイム2km、バイク200・9km、ラン41・8kmの計244・7kmで国内最北、最長の大会と言われており、517名の鉄人たちは、入賞または完走を目指し、肉体の限界に挑戦しました。天塩町では、2箇所にてエイドステーションを設置し、147名の方がボランティアで最後の大会を支えました。増毛港を6時30分にスタートし、オロロンラインを縦断し、天塩町へは10時24分にトップランナーがエイドステーションを通過しました。



往路足切り時間の12時40分までに、446名が天塩を駆け抜けていきました。

本町からは、第1回から連続出場している青野朋之さんが、留萌管内勢第2位、男子9位に入賞し、自身18回目のベストテン入りを果たしました。妻の青野範子さんも最後の記念大会としてリレーの部で出場。スイム2km間を泳ぎ、チームへたすきを繋げました。また、今大会初出場したのは、現在大阪の大学を休学し、農業実習生として働いている石田弓子さん。農業の仕事と練習を両立させ、リレーの部で出場。天塩町を通過するバイクで見事完走し、チームの完走に結び付けました。



インタビュー 大会を終えて…

次回雪辱晴らしたかった



青野朋之さん(48)

3年に1回程度で本州の大会に出場したいですね。将来は、子どもにもスポーツマンになってもらいたいです。

自分自身のスタート

― 挑戦のきっかけ ―

昨年、北海道を自転車で行ったことがあって、大学の友人に誘われ決意しました。

― 仕事と練習の両立 ―

農家さんに理解していただき3時半に起きて練習しました。辛いですが、自然に触れ毎朝リフレッシュされました。

― 見事完走しましたね ―

心配でしたが、サロベツ原野に力をもらいなんとかゴールに着けてホッとしました。

― 大会を通じて ―

チームで取り組むこと、自然への楽しみ方など、いい機会となり、自分自身のスタートとなりました。今後も自転車に乗り続けたいです。

― 今後について ―

― 全20回大会出場 ―
努力では無理です。職場と家族の理解、町民の応援があったからできたと思います。

― この20年での変化は ―
練習量がかなり減りました。ですが、レース勘などは出場するにつれ染み付いてくる。それが安定的に成績を残せたのだと思います。



石田弓子さん(21)

それぞれの職場を体験学習

天塩高校インターンシップ

9月12日、13日の2日間、天塩高校の2年生47名が天塩町内の17事業所で職場体験学習（インターンシップ）を行いました。

この職場体験学習は、実際に各職場で働くことで、自分の職業適性や将来設計について考える機会を設け、就職後の適応力、自立的に考え責任ある行動ができる能力を養うため、平成15年より実施しております。

生徒を受け入れた事業所は、保育所や歯科医院、消防署、温泉、ガソリンスタンドなど多種多様で、生徒はそれぞれ希望職種ごとに実習しました。

担当の樋口先生は「生徒たちは、就職に対する軽んじた気持ちがあり、離職率も高いので、少しでも就労することを経験を積み、今後の進路選択に繋がってくれば」と話しておりました。

生徒たちは、今回実際に働いてみて、働くことの大変さや楽しさを学び、将来の進路

を選択する上で自分の職業適性などを把握することができたのではないのでしょうか。今回の実習では、広報づくりも体験していただきました。左の写真も生徒が撮影したものですのでご紹介いたします。

就業体験学習の様子



天塩高校2年生47名が、9月12、13日に天塩町内の職場17ヶ所でインターンシップが行なわれました。就業体験では、自分の職業適性や将来設計について考えるための職業選択を主体的に考えるとしています。天塩町立国保病院では、患者の気持ちになって車椅子体験をしたり、とらや菓子司ではケーキのデコレーションづくりをしたり、くさかりでは

小学校に教科書の配達などをしました。てしお温泉夕映で体験した人は「1日目は仕事を覚えるのがとても大変だったが、2日目は仕事になれ、とてもやりがいのある仕事だった」と話しました。このインターンシップでは、普段はなかなか体験できないようなことができて、よい経験になりました。（天高2年 小林郁也）

8丁目町内会が防災訓練

9月1日、防災の日に合わせて、8丁目町内会（小林保会長）が町や北留消防組合（天塩支署、天塩警察署の後援協力により防災活動研修会を行いました。

正午のサイレンを合図に、参加町民37名が会館に避難。自主防災を踏るため、組織による情報収集や伝達、その他の研修として消防職員から消火器の使用法の講習や三角巾による応急処置の講習、警察官から南西沖地震時の状況を交えての講演など、災害時に備えました。

また、10時から女性部が炊き出し訓練を実施しており、参加者へおにぎりやゆでたまごの配布も行いました。



9月15日

「笑顔に癒されました」 ふれあい体験講座

ふれあい体験講座が9月7日、ふれあいセンターにて行われ、天塩高校の選択科目で保育を学んでいる3年生19名が、赤ちゃんとそのお母さんたちと交流を深めました。

小さい子どもと接する機会が減ってきていることから、生命の大切さ尊さを学んでもらうことを目的としており、体験した生徒たちは、授乳体験や初めてのオムツ交換などにとまどいを見せながらも「かわいい・癒される」と楽しそうに接しました。

また、生徒たちは熊や蛙の人形を持参して、赤ちゃんへプレゼントしました。



9月7日

「素敵な音色をありがとう」 サクソ演奏会

サクソ演奏会が9月15日、ケアハウスにて行われ、入所者の方々約50名が生サクソ音に酔いしれました。

演奏者は渡部昭彦さん（60歳）で、2度の事故で現在は車椅子の生活を送っていますが、学生時代に独学で学んだサクソを手に、全国の施設を慰問しております。

演奏を聴いた入所者の方は「初めてサクソの生音を聴きました。素晴らしいです。」と感動しておりました。



9月15日



「楽しい歌&トークで会場が沸く」 平成18年度天塩町敬老会

天塩町敬老会が、9月15日に社会福祉会館にて開催され、70歳以上のご年配者の方々約200名が長寿を祝う催しを楽しみました。

今年も式典形式ではなく、楽しい時間を過ごしてもらおうと、松村一郎さん外3名による歌謡ショーを行いました。

浅田助役から「笑って楽しむことが健康の秘訣と言われているので十分に楽しんでいってください。」と挨拶後、ショーが開催され、松村一郎さんの歌やトークに会場が沸きました。

9月14日



「ご協力をお願いします」 飲酒運転追放キャンペーン

飲酒運転追放キャンペーンが9月14日の午後8時より、天塩警察署と町が町内の飲食店19軒を訪問し、飲酒運転を追放する呼びかけポスターとチラシを配布しました。

啓発活動は、警察署小山田次長や浅田助役など計5名で、午後8時に天塩警察署をスタート。2班に分かれてポスター等を配り、協力を求めました。店主のほかにも、飲食していたお客にも別種類のチラシを配り飲酒運転は絶対にしないよう事故防止を訴えました。

9月13日

「全力で精一杯プレーしました」
第59回秋季北海道高等学校野球大会
第53回名寄支部予選会

第59回秋季北海道高等学校野球大会の名寄支部予選が、9月13日から17日の日程で町営野球場にて開催され、地元天塩高校野球部は、13日第2試合に優勝候補の士別高校と対戦。

野球部員16名は、町民の声援に応えるべく精一杯戦いましたが、11対1で敗戦し、2回戦進出にはなりませんでした。



8月30日



「ご厚志ありがとうございます」
船木たねさんが備品を寄贈

平成15年5月から入所している船木たねさんが、今年米寿を迎えたことから、これを記念して恵愛荘へ、除細動器など備品を寄贈され、8月30日、親戚の渡会美津江さんと高橋昭治さんが代理で役場を訪れ、本田町長へ目録を手渡しました。

本田町長は「除細動器を設置したいとの要望があったが我慢してもらい、先に雄信内へ設置した。大変ありがたい。」と感謝の言葉を述べました。

【寄贈品目】 ●自動体外式除細動器 ●アルミ製車椅子 ●車椅子座スイング ●離床コール3台 ●エマジン小型吸引器 ●マット付シャワー椅子 ●背付長椅子3脚

「知識と技能の修得に努める」
消防団員現地教育訓練

平成18年度消防団員現地教育訓練が、9月10日天塩中学校体育館にて行われ、留萌管内の消防団員や消防職員など278名が一堂に集まり、訓練礼式や講話など消防に対する知識等を学びました。

この日はあいにくの雨により、当初予定していたグラウンドでの実施が中止されたため、観閲等の科目が行われませんでした。各市町村消防団の訓練礼式や北海道消防学校より講師を招き、消防の歴史や重要性などスライドを使って講話するなど消防団員の識見を高めました。



9月10日

町民カレンダー

ごみ収集スケジュール

月	火	水	木	金	土	日
生ごみ	一般ごみ	資源ごみ	生ごみ	農村地区	休み	休み
ペットのふん		紙おむつ等 衣類等	ペットのふん			

※ごみは当日の朝8時までに出してください。

1

日

- 天塩中学校学校祭
- 啓徳小中学校文化祭

2

月

- 託児の日10時〔ふれあいセンター〕
- 定例健康相談10時〔ふれあいセンター〕
- 物忘れ相談10時〔ふれあいセンター〕

3

火

4

水

- おでかけサロン10時〔雄信内老人憩いの家〕
- 5歳児健診12時30分〔ふれあいセンター〕
- 乳児検診13時〔ふれあいセンター〕

5

木

6

金

- 高齢者大学10時30分〔福祉会館〕

7

土

8

日

9

月

- 体育の日

10

火

- おでかけサロン10時〔老人福祉センター〕
- 夕映健康相談13時30分〔てしお温泉夕映〕

11

水

12

木

- 夕映健康相談13時30分〔てしお温泉夕映〕

13

金

14

土

- 運転免許更新時講習 優良13時 一般14時 違反15時30分〔豊富町町民センター〕
- 更岸小学校学芸会
- 町民文化祭作品展示（15日迄）〔福祉会館〕

15

日

- 天塩小学校学芸会
- 北産士小学校学芸会

16

月

- 高齢者インフルエンザ予防接種（12月15日迄）〔町立病院〕

17

火

18

水

- いきいきサロン10時〔雄信内老人憩いの家〕
- 行政相談会10時～12時〔中央町民会館〕13時30分～15時30分〔雄信内生活改善センター〕
- 天塩町子どもの集い〔天塩小学校体育館〕

19

木

20

金

- 健康!ステップアップ教室13時30分〔ふれあいセンター〕

21

土

22

日

23

月

24

火

- いきいきサロン10時〔老人福祉センター〕
- フッ素塗布12時30分〔ふれあいセンター〕
- 小学校就学予定者健康診断13時〔福祉会館〕

25

水

26

木

- フッ素塗布12時30分〔ふれあいセンター〕

27

金

28

土

29

日

- 町民文化祭芸能発表会10時〔福祉会館〕
- 子宮ガン検診〔ふれあいセンター〕

30

月

31

火

●壁など見やすいところにはってご利用ください。

留萌管内に初の高規格幹線道路

深川・留萌自動車道【北竜ひまわり | C⇔留萌幌糠 | C】

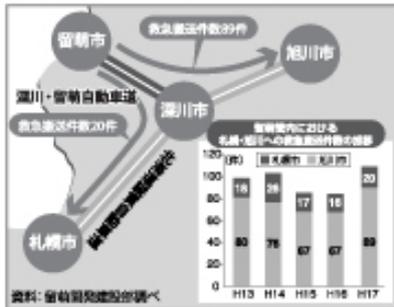
今回の開通により旭川市や札幌市といった道内中心都市への移動が「より速く・より快適」になります。今号から数回に渡り、深川・留萌自動車道の整備効果を紹介します。

平成18年度秋開通！



高次医療機関へのアクセス向上

留萌圏における高度医療施設は旭川赤十字病院や札幌医科大学付属病院等に依存しています。深川・留萌自動車道を利用することにより救急搬送における迅速性がアップし、患者やドライバーの負担が軽減されます。



都市間バスの利便性向上

豊富町～札幌市間の都市間バスが平成18年4月1日から北竜ひまわりに経由に変更しました。所要時間が短縮され旅行や出張に余裕がもてるようになりました。留萌幌糠IC開通でさらなる利便性向上が期待できます。



交通事故の低減

高規格幹線道路は、一般道と比べて死傷事故の危険性が十分の一程度であり、安全性の高い道路です。美瑛牛峠ではこれまで交通事故が多発していましたが、留萌幌糠ICの開通で峠を迂回することが可能になります。



次号(11月号)では物流における効果の紹介や、より詳しい「深川・留萌自動車道」の開通情報を掲載予定です。

北海道開発局 留萌開発建設部

これにちは 保健師です

減塩

『減塩』に取り組み
高血圧を予防しよう！

高血圧を予防するためには食習慣の改善、なかでも減塩に取り組みることが重要だということはみなさんご存知だと思います。

しかし、なぜ塩分を取り過ぎると血圧が高くなるのかということについては、あまり知られていないのではないのでしょうか。

そこで今回は、塩分と血圧のつながりについて説明したいと思います。

現代人の塩分摂取量が多いこと、加工食品には多くの塩分が含まれていることは、先月の「こんにちは栄養士」で取り上げていますが、塩分摂取量が増えることで血圧が高くなる理由として二つ考えられます。

- ① 塩分は筋肉を収縮させる働きがあります。結果として血管を収縮させ、血液の通り道が狭くなります。
- ② 塩分は血液中の水分を増やします。からだの中をめぐる血液の量が多くなると、心臓から血液を送り出すとき、より大きな力が必要となります。

①と②の結果として、血圧が高くなるのです。

高血圧予防には減塩。普段口にしてる食品や調味料に含まれている塩分量や、1日の食事ですれくらの塩分量とついでにのちを知ることが大事でしょう。

また、調味料を使う時は、今までよりも使う量を少なくする。この積み重ねが、高血圧予防へとつながることでしょう。

まちの 伝言板

ご存知ですか？ 検 察 審 査 会 稚内検察審査会

■ 検察審査会とは
選挙権を有する国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、国民を代表して、検察官が事件を起訴しなかったこと（不起訴処分）良し悪しを審査するところです。

■ 審査はどういうときに
犯罪の被害にあった人や犯罪を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として、検察審査会に申立てがあったときに審査を始めます。また、申立てがなくても、検察審査会が職権で不起訴事件を取り上げて審査することもあります。

■ 検察審査員の選び方は
市町村の選挙管理委員会が、

選挙人名簿に基づいてくじで検察審査員候補者を選びます。その中から、検察審査会事務局が再びくじで検察審査員を決めます。任期は6か月です。

■ 審査の方法は
検察審査会では、十一人の検察審査員が出席し、検察審査会議を開いて、事件記録を調べたり、必要に応じて証人と呼んだり、実地検分をしたりにして検察官の不起訴処分の良し悪しを審査します。

■ 審査の結果は
検察審査会で審査した結果は、さらに詳しく捜査すべきである（不起訴不当）とか起訴すべきである（起訴相当）という議決があった場合には、検察官は、この議決を参考にして事件を再検討し、その結果、起訴が相当との結論に達したときは、起訴の手続きがとられます。

また、申立人の秘密は固く守られます。観察審査会の窓口では、申立てについての相談を受けていますので、お問合せください。

イノコオムエーション

Information

問合せ

稚内検察審査会事務局
（稚内市潮見1丁目3番10号
旭川地方裁判所稚内市部内）
☎ 0162-33-5289

油 漏 れ 注 意 ！

役場住民課

気をつけよう、古いホームタ
ンクの油流出！！

油はわずかな量でも拡散し、被害が広がります。河川を汚さないため、次のことに気をつけましょう。

- ホームタンクに腐食や亀裂がないか点検する。
- ホームタンクの下に防油堤等を設置し、使用後は元栓をしつかり閉める。
- ホームタンクから灯油を移すときはその場を離れない。油漏れの事故を起した場合

は直ちに左記へご連絡を。対応が遅れると復旧作業のため多額の費用がかかります。油の取り扱いと処理につい

ては、十分に注意してください。

問合せ

北留萌消防組合天塩支署
☎ 2-1560
住民課住民安全係（内124）

学 生 募 集 の お 知 ら せ

旭川高等技術専門学院

- 科目（定員）
- ・ 電子工学科 (20)
 - ・ 自動車整備科 (20)
 - ・ 印刷デザイン科 (20)
 - ・ 色彩デザイン科 (20)
 - ・ 建築技術科 (20)
 - ・ 造形デザイン科 (20)

■ 期間 2年間
■ 応募受付期間
平成18年11月1日から20日迄
■ 応募資格

学校教育法による高等学校を卒業した方。（平成19年3月卒業見込みの方を含む）若しくは、これと同等以上の学力を有すると認められる方。

■ 選考日及び選考科目
平成18年12月4日（月）

役場の電話番号



2-1001

- ・ 学力試験（国語、数学）
- ・ 面接

掲載を希望される方へ11月号に掲載を希望する方は10月10日（火）までにお知らせください。

■ 必要経費

	経費	実費経費（1年次）
検定料	2,200円	100,000～186,000円
入学科	5,650円	教科書・私物工具
授業料	115,200円	作業服・研修費等

問合せ

北海道立旭川高等技術専門学院
☎ 0166-65-6667
稚内公共職業安定所
☎ 0162-34-1120

10月は労働保険 適用促進月間です

労働基準監督署

労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、政府が直接管理運営している強制的な保険です。

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業について加入が義務づけられておりますが、小規模零細事業を中心に、な

お相当数の未手続事業が残されています。これら未手続事業の快勝は、労働保険制度の健全な運営、費用の公平負担、労働者の福祉の向上等の観点から極めて重要であり、これまでも重点施策の一つとして取り組んできましたが、より一層の取り組みが必要とされる状況にあります。

このため、厚生労働省では、未手続事業解消の一環として、今年度も10月を「労働保険適用促進月間」と定め「未手続事業の一掃」を主要課題として

全国的に集中して広報活動を展開し、もって労働保険制度のより一層のご理解をいただくこととしました。

労働者が安心して働ける職場となるよう、まだ労働保険に加入していない事業主の方は、速やかに最寄りの労働基準監督署または公共職業安定所（ハローワーク）で加入手続をしてください。

問合せ

○稚内労働基準監督署

稚内市末広町3丁目3-1

☎0162-23-3833

○稚内公共職業安定所（ハローワーク）

☎0162-34-1120

「ねえみんな、この金額に目を留めて！」 北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道（地域別）最低賃金が次のとおり改正されました。

時間額 **644** 円
(平成18年10月1日発効)

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外等割増賃金は算入されません。

問合せ 北海道労働局 労働基準部賃金課

☎011-709-2311

〈北海道労働局HP <http://www.hokkaido-labor.go.jp>〉

役場執務時間の変更のお知らせ

平成18年10月1日から執務時間に変更となります。

変更前 **8時45分～17時15分**

変更後 **8時30分～17時30分**

また、土・日曜日等の閉庁日の来庁については、事前に分かる場合は担当課へ連絡くださるようお願いいたします。なお、病院等施設の利用時間は従来通りですのでご了承ください。

行政相談週間は

10月16日（月） から **10月22日（日）** です。

行政相談週間にちなんで、次のところでご相談に応じます。

このような
場合

行政相談を

役場や独立行政法人の仕事、JR・NTT・JTや公庫・公団といった特殊法人の仕事について

- ◆役場などに対する手続きがわからない。
- ◆役場などの処理が遅い、まちがっている。

たとえば…

- 道路や河川管理など
- 年金、医療保険、雇用保険、火災など
- 生活保護、老人・母子・身障者福祉など
- 登記事務、国税、郵便、鉄道・バス、電話など

10月18日（水）

10:00～12:00

中央町民会館

（民生委員、心配ごと相談と合同）

13:30～15:30

雄信内生活改善センター

上記日時のほかにも行政相談委員は、随時ご相談に応じています。

総務省 行政相談委員

川端 英嗣 天塩町新地通5丁目 ☎2-1103

総務省 北海道管区行政評価局旭川行政評価分室

小学校就学予定者健康診断のお知らせ

教育委員会

学校保健法の規定により、平成19年4月に新しく小学校に入学する児童について健康診断を実施します。

この健康診断は、就学予定者の心身の状況を把握し、保健上の適正な就学を期するために行いますので、保護者が付き添って必ず受診されますようお願いいたします。

■実施日

平成18年10月24日(火)

■実施場所

天塩町社会福祉会館

■検査項目

一般的な内科検診、歯科、視力、聴力、知能検査、言葉の観察等

■受付時間

12時30分～12時50分

■検診時間

13時00分～16時00分まで

【問合せ】

教育委員会 学校教育係

☎ 2-11026

ご厚志

ありがとうございます
ございます

●天塩町へ

恵愛荘 船木 たねさん

恵愛荘備品 九八七、二〇七円

●天塩町社会福祉協議会 愛情銀行へ

【香典返しとして】

東雄信内 西村マサオさん

二〇、〇〇〇円

山内 ツッさん

一〇、〇〇〇円

新栄通7 辻本カツエさん

一〇、〇〇〇円

海岸通3 久保田光子さん

一〇、〇〇〇円

新成 吉田美恵子さん

三〇、〇〇〇円

【快気】

富士見 橋本 哲雄さん

三、〇〇〇円

【一般】

天塩町軟式野球連盟

五、〇〇〇円

天塩保育所職員一同

二〇、〇〇〇円

●恵愛荘入所のお年寄りへ

新栄通8 栗山 テルさん

山手通10 工藤 充子さん

遠別町 山本 仁美さん

天塩町農業協同組合女性部

自動車点検整備推進運動実施中

(強化実施月間 平成18年9・10月の2か月間)

安心・安全のため

点検してますかー！?

日常点検や定期点検をきちんと行っていますか。日頃こまやかな点検を行っていれば、運転中のトラブルの多くは回避できます。

クルマの健康管理は、クルマを守るだけでなく、人の命や環境も守ることにつながります。

ホームページ

(<http://www.tenken-seibi.com>)

北海道運輸局 旭川運輸支局

ひとのうごき

おたんじょう

高橋 瑠斐ちゃん
巧さん・祥恵さんの長男 海岸通7

多田 莉世ちゃん
淳也さん・幸江さんの長女 新地通12

おくやみ

西村 外治さん 94歳 東雄信内

山内 留次さん 87歳 みどり

辻本加代治さん 81歳 新栄通7

久保田勝美さん 81歳 海岸通3

吉田 一郎さん 72歳 新成

井波 正男さん 77歳 南町

わたしたちのまち

8月末

人口 3,875人 (-9)

男 1,921人 (-9)

女 1,954人 (±0)

世帯数 1,680世帯 (-4)



記事を作成する小林君

天塩高校インターンシップにて広報づくりに挑戦した小林郁也君。慣れない写真撮影や原稿の作成にも積極的にこなし、なんとか原稿を完成させました。これを機に、少しは広報紙や新聞などに興味が沸いてくれれば、それだけでも体験した価値はあると感じています(T)

編集後記